

第7分科会 「現職教育」の運営概要

【研究課題】

教職員の人間性と専門性を高め、意識改革を促す現職教育と校長の在り方

【リーダーシップの視点】

- 1 教職員としての資質や能力を高め、指導力と意識改革を促す研修の充実
- 2 確かな展望と変化の時代に対応でき、次代の学校を担うミドルリーダーや管理職の育成

I 分科会研究協議の運営計画

【リーダーシップの視点1について】

- ・学校力を高め、児童を目指す姿に育てていくために、教職員の資質・能力の向上は不可欠なものである。個々の教職員の指導力の向上と、共通の目標の達成に向けて機能する教職員集団を育成することが両輪となる。そして、個々の力が集団に寄与し組織で取り組む体制が機能することが必要となる。そのために、教員の資質能力の向上と、一人一人が展望や学校経営参画意識をもつようになる研究や研修の推進に関わる校長の果たすべき役割を探るとともに、個と集団をスパイラルに高めていく校長の具体的な指導力について、明らかにしていく。

【リーダーシップの視点2について】

- ・管理職を目指す人材の減少が課題となりつつある昨今、次代の学校を担う人材育成は急務である。変化の時代に求められる人間関係調整力、行動力、判断力等柔軟な対応力と、確固たる学校経営の信念を併せもつ管理職を育てるべく、ミドルリーダーの組織的・計画的な育成を図る校内体制の確立、管理職を担う人材の資質・能力の向上に関わる校長の果たすべき役割と指導性について明らかにしていく。

【討議の柱】

- ① 教職員の成長と教職員集団が高まる研究・研修体制を確立する校長の指導性の在り方
- ② ミドルリーダーや次代の管理職を担う人材の組織的・計画的な育成を図る校長の役割と指導性

II これまでの成果と課題

～ 上川大会より ～

(平成24年度)

- ・研修における個人研修計画書の作成と各種研修会への参加奨励。
- ・学校評価と職員評価制度のリンクによる人材育成。
- ・校長会経営部会による事例集の作成と配信による課題の共有。
- ・服務規律の遵守に関する研修の実施による意識改革。

～ 渡島・北斗大会より ～

(平成25年度)

- ・教育課題の解決への校長のリーダーシップ。
- ・校内研修の質の改善を図る校長のリーダーシップ。
- ・学校評価や各種調査などの活用、教職員個々の意識を把握した意図的・計画的な指導・助言・評価。
- ・計画的・組織的な研修会等の実施と校長間のネットワークの構築。
- ・ミドルリーダーや管理職育成には、魅力的な管理職像の提示の実現。
- ・ミドルリーダーや管理職等、後継者の発掘の急務。
- ・校長・教頭の連携、共通の認識の上に立つ組織的で意図的・計画的な人材育成の必要性。

Ⅲ 研究発表の概要

研究発表者 釧路地区 鶴居村立 幌呂小学校長 麻生 克彦 先生

研究発表題 教員の意識改革を促し、

学校力・教師力を高める現職教育と校長の在り方

視点1. 「教員の資質・指導力が高まる校内研究体制の整備」

視点2. 「学校の教育力向上を目指すミドルリーダーの育成」

発表の主張点

○教職員の資質向上を担う研修と、ミドルリーダーの育成についての焦点化した研究。

○校長と教頭が共通の認識をもって組織的で意図的・計画的な人材育成を図るために、校長と教頭の意識の差を探る調査研究から、課題を明らかにする。

○個々の教員と、教職員集団を質的に高めていくにあたっての校長の指導性や校長会の取組。

Ⅳ 協議の流れ (13:00 ~ 16:30)

1 開会の言葉 (日程説明等) <13:00~13:05>

2 趣旨説明 <13:05~13:15>

3 研究発表 <13:15~13:40>

【研究発表】

教員の意識改革を促し、
学校力・教師力を高める現職教育と
校長の在り方

4 研究協議 <13:40~16:15>

(1) 研究発表についての協議 (13:40~14:15)

① 研究発表を受けて学んだことや質問など、記録カードに記入しグループで話し合う (20分)

教員の資質・指導力の
向上にかかわる校長の
意識調査の分析から

釧路校長会の具体的な実践事例
を自校に照らし合わせると？

成果をあげている釧路地区の研究・研修の
取組、ミドルリーダー育成の指導体制に、
学ぶことは？

② 研究発表に関わる各グループからの質疑応答や話し合いの全体交流を通して発表内容を深め、
グループ討議につないでいく (15分)

(2) 休憩 (14:15~14:25)

(3) グループ討議 (14:25~15:25)

視点1. 視点2. について、研究発表を受けた討議の柱に沿って、グループで意見交流、
各校の実践の具体を基に討議し、中心となるキーワードを基にフリップにまとめる

視点①・個と集団が高まる研究・研修への校長のリーダーシップとは？

- ・学校規模や児童の実態に即した校内研修の組織作りと指導体制の実際
- ・計画的・組織的な実践研究会や研修会・校内研修の質的向上のために など

視点②・豊かな人間性を有するミドルリーダーの育成には？

- ・意図的・計画的な人材育成と人材発掘のために など

(4) 休憩 (15:25~15:35)

(5) 全体協議 (15:35~16:15)

各視点ごとに、それぞれ1グループ3分(×2視点)程度、グループ討議のフリップをもとに
グループ発表をする。

グループ発表から、今年度の分科会の方向性を求めていく

5 研究協議のまとめと今後の課題 <16:15~16:25>

6 連絡・閉会 <16:25~16:30>

※ 参会者の皆様は、名刺と、グループ討議で交流しますので、各地区の現職教育への取組や各学校の校内研究・研修体制、研究計画などの参考になる資料を、6部程度ご用意いただけるとありがたいです。

文責 (山谷 陽子)